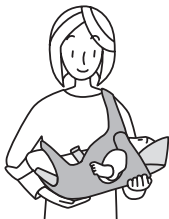
Combi

コンビ　ニンナナンナ
マジカルコンパクトファースト SK-X
プレミアムコンフォート
プレミアムブリージング

Baby Soft Carrier

取扱説明書

ヨコだっこ

タテ対面だっこ

タテ前向きだっこ

おんぶ

子守帯を3年以上ご使用の場合、生地等の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
不測の事態に備えてご使用をお控えください。

注意

- 誤った使用方法でお子さまが傷を負う可能性がありますので、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
- 本製品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

ご使用の前に

このたびはニンナナンナ マジカルコンパクトファーストをお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は、お子さまを「だっこ」や「おんぶ」して、外気浴、買い物のときなどに使用するための1人用子守帯です。ご使用の前に、5ページの「各部のなまえ」をご確認ください。

●マジカルコンパクトファーストは、お子さまを**「ヨコだっこ」「タテ対面だっこ」「タテ前向きだっこ」「おんぶ」**できます。

■使用できるお子さまの月齢について

（お子さまの発育により、同じ月齢でも体格や体重には個人差があります）

使いかたのスタイル	参考月齢（0ヵ月／首がすわる／腰がすわる／12ヵ月／30ヵ月）	限度体重
ヨコだっこ	生後すぐ～首がすわるまで（4ヵ月頃まで）	7.0kgまで
タテ対面だっこ	首すわり～（12ヵ月頃まで）	11.3kgまで
タテ前向きだっこ	首すわり～（12ヵ月頃まで）	11.3kgまで
おんぶ	首すわり～（30ヵ月頃まで）	14.9kgまで

※冬場など厚着をしますと、お子さまの体格によっては使用できなくなることがあります。お子さまの体格を考慮し、無理のない服装でご使用ください。
※ヨコだっこ使用時のお子さまの身長は約64cmまでが目安です。

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

□ 枠(2～4ページ)の中に具体的な注意内容が書かれています。

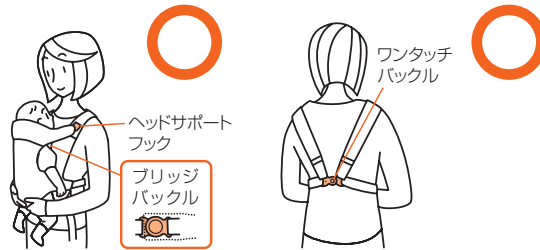
⚠ 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

⚠警告

【とめる】

ご使用の際は、以下のバックルおよびフックを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下するおそれがあります。

●ヨコだっこする時
• ヘッドサポートフック(左右)
• ホールドバックル

●タテだっこ(対面・前向き)する時
• ヘッドサポートフック(左右)　• ワンタッチバックル
• ブリッジバックル

●おんぶする時
• ヘッドサポートフック(左右)
• ブリッジバックル

【調節する】

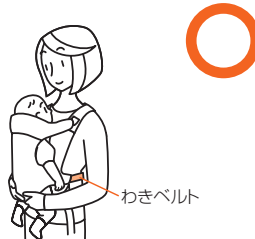
ご使用の際は、以下のベルトの長さを使用者の身体にあわせて必ず調節してください。お子さまと使用者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

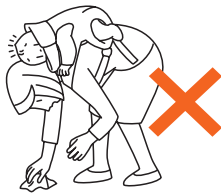
●ヨコだっこする時
• わきベルト左右
• ホールドベルト

●タテだっこ(対面・前向き)する時
• わきベルト左右

●おんぶする時
• わきベルト左右

つづく

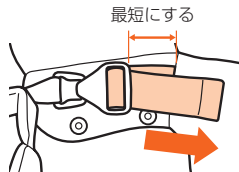
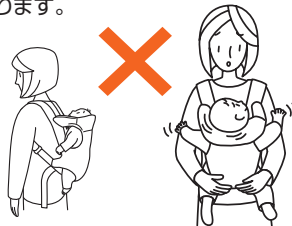
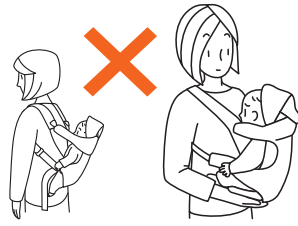
⚠警告

お子さまの乗せおろしは、必ず安全な場所で行ってください。
不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

使用中に走ったり、飛び跳ねたり45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。

だっこするときは、必ず手で支えてください。
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下するおそれがあります。

次のようなお子さまには、ヨコだっこで使用しないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。
- ●体重7.0kg超のお子さま
- ●ヨコだっこ専用シートのヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
- ●寝返りができるお子さま

タテだっこやおんぶの際、ヘッドサポートを折って使うときには、お子さまの腕をヘッドサポートの上から出さないでください。落下のおそれがあります。

ヨコだっこするときは、お子さまの頭部をお尻よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。
不安定な状態で抱くと、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

首がすわっていないお子さまに対しては、絶対にタテだっこやおんぶをしないでください。
お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、必ずヨコだっこ専用シートをはずしてください。
お子さまの頭部を圧迫するおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、お子さまの肩がヘッドサポートに当たってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(P15を参照)
当たったまま使用すると落下のおそれがあります。

タテだっこやおんぶの際、お子さまのわきの下が子守帯のシートに当たってしまうときには、必ずお子さまの位置を調節してください。(P15を参照)
当たったまま使用するとお子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

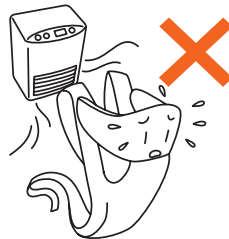
⚠注意

授乳後約30分以内や、連続2時間以上の使用はしないでください。
お子さまや使用者に思わぬ負担をかけるおそれがあります。

使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。
特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。
乳房を圧迫するおそれがあります。

製品のほつれ、傷、やぶれを見つけたとき、またバックルなどの部品が破損したときには、すぐに使用を中止してください。
そのまま使用すると、故障や事故につながるおそれがあります。

ヨコだっこやタテだっこの際、足元が見えにくくなる場合がありますので、歩行には注意してください。

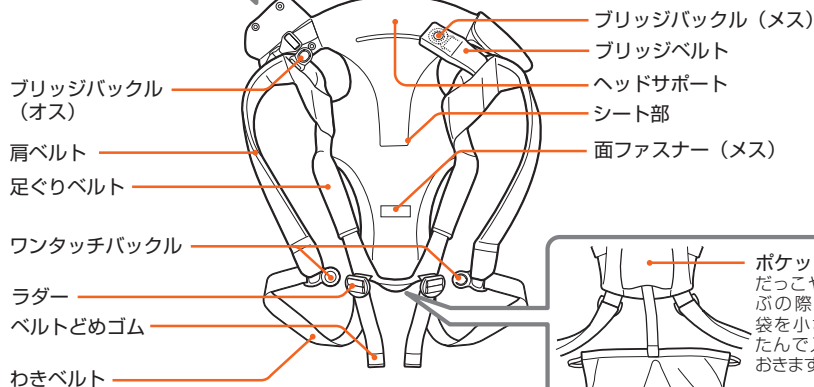
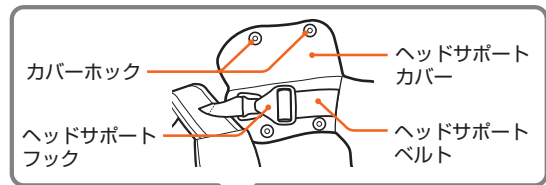
製品を火の近くや屋外に放置しないでください。
熱や雨水などでバックルや生地などが変質し、事故につながるおそれがあります。

お子さまをだっこ、またはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。
破損・故障の原因になります。
※歩行時以外での使用はできません。

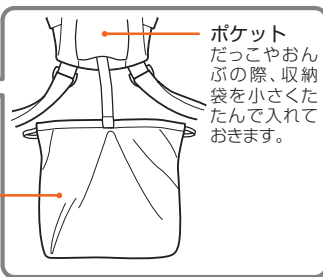
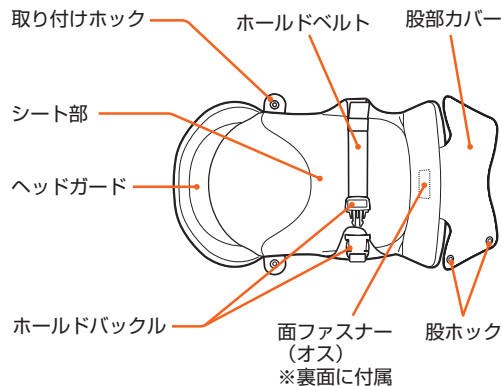
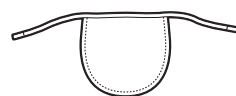
各部のなまえ

子守帯（本体）

カバーホック
ヘッドサポートカバー
ヘッドサポートフック
ヘッドサポートベルト

ブリッジバックル（メス）
ブリッジベルト
ヘッドサポート
シート部
面ファスナー（メス）
ブリッジバックル（オス）
肩ベルト
足ぐりベルト
ワンタッチバックル
ラダー
ベルトどめゴム
わきベルト

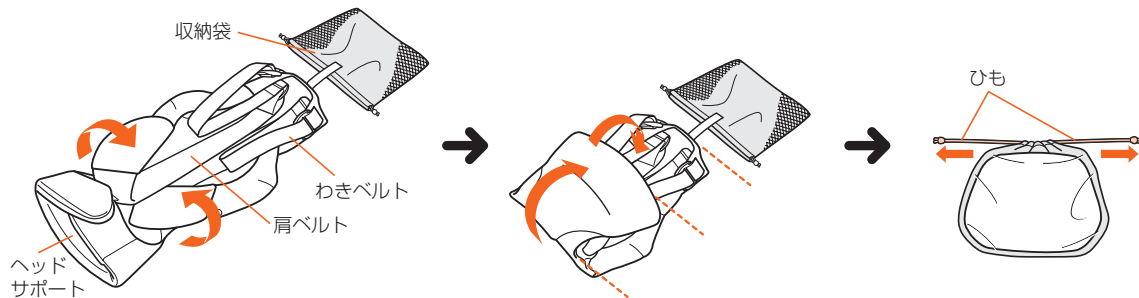
※使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転分ねじれています。

ポケット
だっこやおんぶの際、収納袋を小さくたたんで入れておきます。

収納袋
子守帯（本体）を収納します。
「くるくるコンパクト（収納機能）の使いかた」6ページをご覧ください。

ヨコだっこ専用シート

フィットカバー　2ウェイ専用スタイ

※プレミアムコンフォートのみ付属

洗濯を繰り返すことにより、風合いが変化します。傷んできたと感じたら交換をおすすめします。部品として、弊社コンシューマープラザから購入することができます。「付属品のご注文窓口」25ページをご覧ください。

便利な使いかた

くるくるコンパクト（収納機能）の使いかた

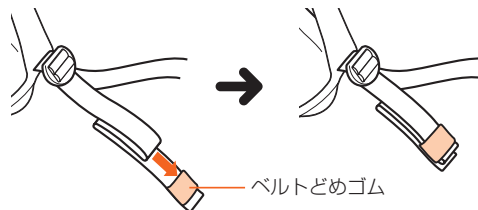
子守帯（本体）のコンパクトな収納方法です。※ヨコだっこ専用シートははずします。

❶ **収納袋を取り出し、肩ベルト、わきベルトを子守帯のシート部内側に折ってまとめます。**

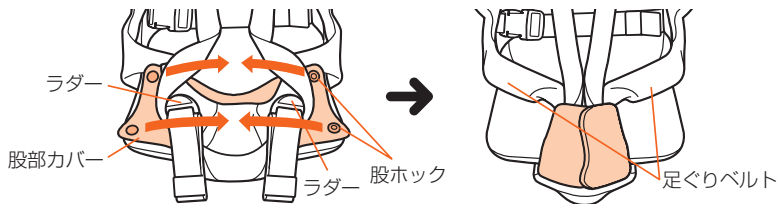
※ヘッドサポート側を手前にすると折りやすくなります。

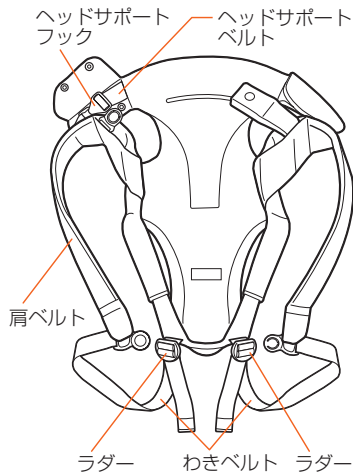
❷ **そのまま三つ折りにします。**

❸ **収納袋に入れ、ひもを引っぱります。**

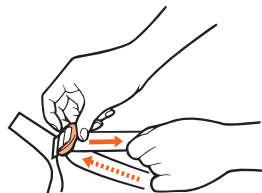
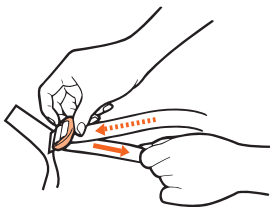
ベルトどめゴムの使いかた

わきベルトの余りは折り返し、ベルトどめゴムでまとめることができます。

股部カバーの使いかた

ヨコだっこのときには、わきベルトの余りやラダーと足ぐりベルトをまとめて股部カバーに収納し、股ホック2ヶ所をとめます。

※ベルトなどがカバーから出ていても、ご使用上、特に問題はありません。

各部の調節方法

わきベルトの長さを調節する方法

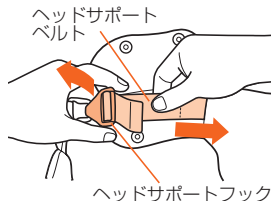
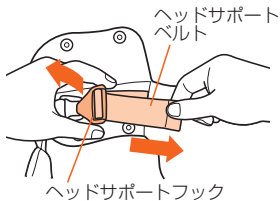
● 短くするときはラダーを立てて、わきベルトの余りを引っぱります。

● 長くするときはラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。

わきベルトを調節するのは、このようなときです。

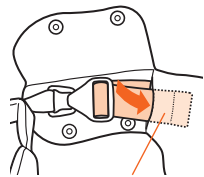
・お子さまの高さ調節
・使用者の身体にフィットさせる。
・ヨコだっこ時、お子さまを水平にたもつ。

ヘッドサポートベルトの長さを調節する方法

● 短くするときはヘッドサポートフックを立てて、ヘッドサポートベルトの余りを引っぱります。

● 長くするときはヘッドサポートフックを立てて、ヘッドサポートベルトを引き戻します。

ヘッドサポートベルトを調節するのは、このようなときです。

・タテだっこやおんぶの際、お子さまの頭まわりの寸法を調節する。

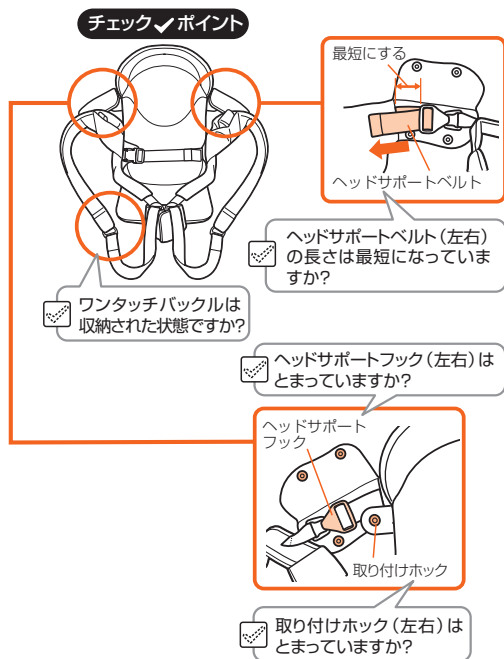
ヘッドサポートベルトの余りは、図のようにシートの内側に収納できます。

⚠警告

ヨコだっこ時は、左右のヘッドサポートベルトの長さを最短にしてお使いください。長いとお子さまの頭部が下がり、お子さまが落下するおそれがあります。

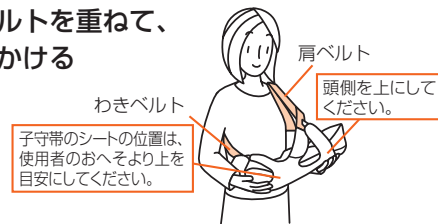
ヨコだっこの準備

各部の状態を確認する

開封時はヨコだっこ専用シートがセットされていますが、
必ず下記のチェックポイントで各部の状態を確認してください。

※ 確認後、ヘッドサポートベルトの余りをシートの内側に収納し、左右のカバーホックをとめてヘッドサポートカバーを閉じてください。

わきベルトの長さを調節する

お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうように
わきベルトの長さをラダーで調節します。

子守帯を左右の肩ベルトを重ねて、肩からわきへ斜めにかける

※ わきベルトは、使用者の身体にフィットするよう、あらかじめ半回転分ねじれています。
※ わきベルトを調節したあとは、余ったベルトやラダーを股部カバーの中にまとめ、股ホックをとめます。（「股部カバーの使いかた」6ページをご覧ください。）

● 子守帯の位置が低いとき
わきベルトを短くする。
（P7参照）

● 子守帯の位置が高いとき
わきベルトを長くする。
（P7参照）

● ヨコだっこの理想アングル
使用者の身体に近い方のわきベルトを短めに調節（10cm程度）すると、お子さまを水平にバランスよくだっこできます。
※開封時はわきベルトが左右同じ長さにセットされています。必ずご使用の前に調節してください。

～悪い状態～

角度がかたむき、お子さまが片側へ寄ってしまいます。

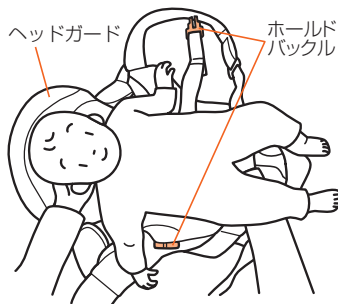
～理想の状態～

お子さまが水平になるよう、わきベルトを調節してください。

ヨコだっこで使うには

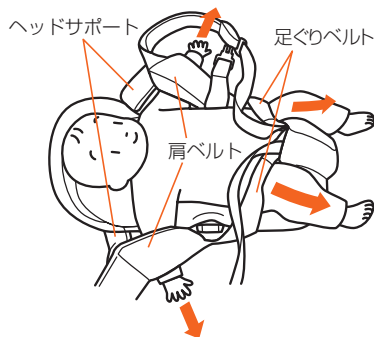
•左だっこ･右だっこ、どちらでもお使いいただけます。ここでは、左だっこで説明しています。

1 ヨコだっこ専用シートにお子さまを乗せる

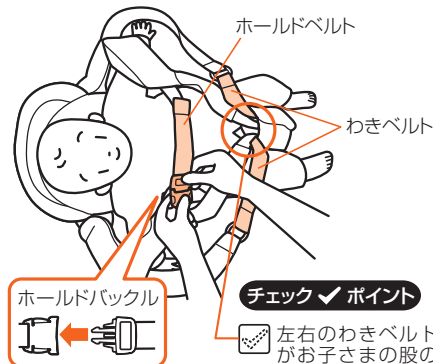
安全な場所に子守帯を広げ、ヨコだっこ専用シートのホールドバックルをはずしたあと、お子さまを寝かせます。

⚠警告 お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまの両足を、左右の足ぐりベルトに通す

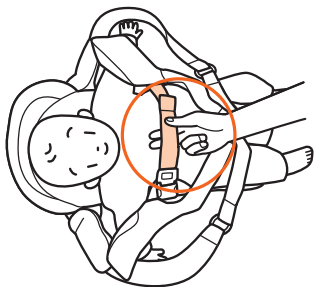
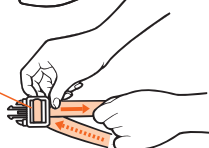
足ぐりベルトを引っぱると内部のゴムが伸び、足が通しやすくなります。

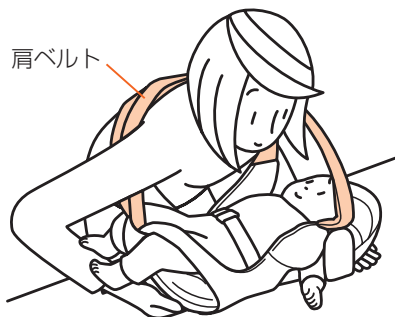
お子さまの両腕を、肩ベルトとヘッドサポートの間に通す

※お子さまの腕は出さなくても、ヨコだっこができます。

3 ホールドベルトを締める

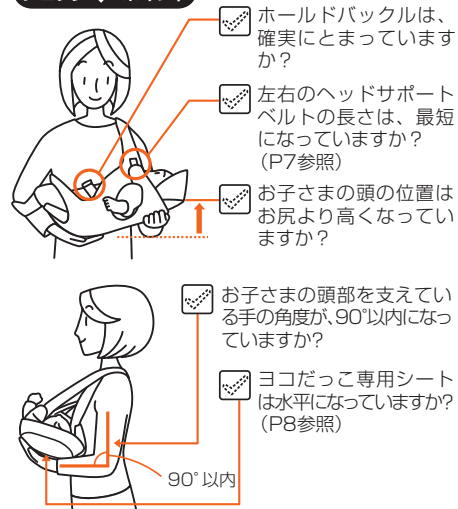
ホールドバックルを「カチッ」と音がするまで差し込み、ホールドベルトの長さを調節します。

⚠警告 ホールドバックルを確実にとめてください。とめないで使用すると、お子さまが落下するおそれがあります。

ホールドベルトの長さの目安

ホールドベルトの長さは、大人の指（第2関節）が2〜3本入るくらいが目安です。

ホールドベルトの調節方法

4 お子さまをだっこする

左右の肩ベルトをあわせ、肩からわきへ斜めにかけます。
上体を起こし、お子さまの頭部とお尻の部分を手で支えます。

※お子さまが水平になるよう、わきベルトを調節してください。（P8参照）

5 装着の状態をチェックする

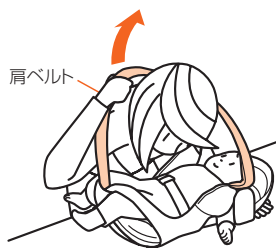
鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック ✓ ポイント

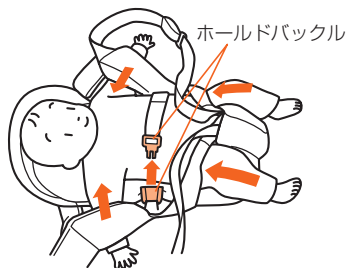
上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。
また、お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負うおそれがあります。

ヨコだっこで使うには

ヨコだっこのはずしかた

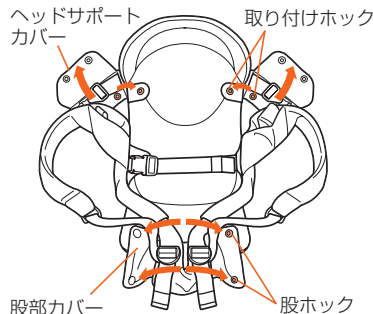
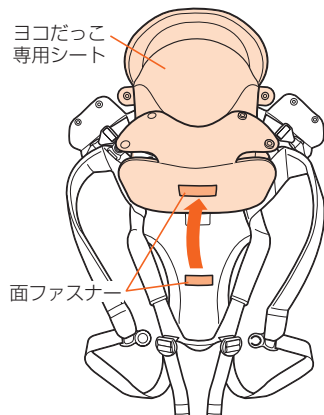
1 お子さまを寝かせ、肩ベルトをはずす

お子さまを両手で支えながら、安全な場所に寝かせ、使用者から肩ベルトをはずします。

2 ホールドバックルをはずす

3 両手と両足を子守帯から抜いたあと、お子さまをおろす

ヨコだっこ専用シートのはずしかた

開封時はヨコだっこ専用シートがセットされていますが、洗濯をするときやタテだっこ・おんぶをするときには、次のようにはずしてください。

1 左右のヘッドサポートカバーを開き、取り付けホック(左右2ヵ所)をはずす

2 股部カバーの股ホック(2ヵ所)をはずす

3 シート裏面の面ファスナーをはずし、子守帯(本体)からヨコだっこ専用シートをはずす

ヨコだっこ専用シートを取り付けるときは

上記のはずしかたの手順を逆に行ってください。(手順3→2→1)

最後に股ホックをとめるときは、わきベルトの余り部分やラダーを股部カバーにまとめてからとめるようにしてください。(「股部カバーの使いかた」6ページをご覧ください。)

警告

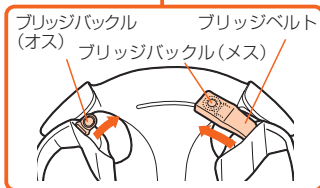
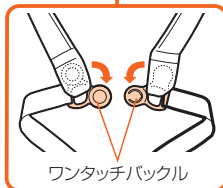
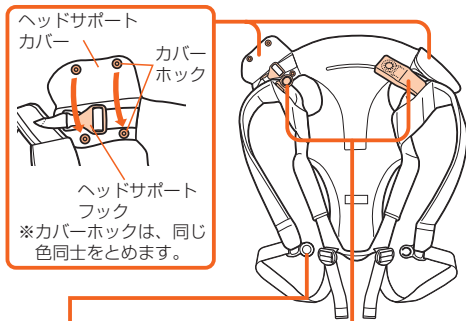
ヨコだっこ専用シートを取り付けるときは、取り付けホック、股ホック、面ファスナーを確実にとめてください。使用中にヨコだっこ専用シートがはずれると、お子さまが落下するおそれがあります。

タテ対面だっこの準備

※ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。
※収納袋を小さくたたんでポケットに入れてご使用ください。

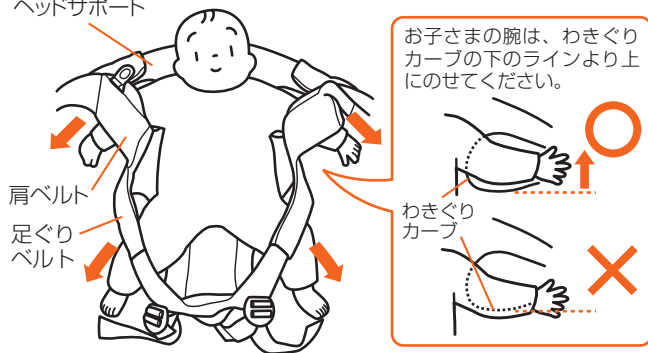
1 左右のヘッドサポートフックがとまっていることを確認し、2ヵ所のカバーホックをとめ、ヘッドサポートカバーを閉じる

2 ブリッジベルトとブリッジバックル(オス)を取り出す

3 ワンタッチバックルを取り出す

タテ対面だっこで使うには

(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

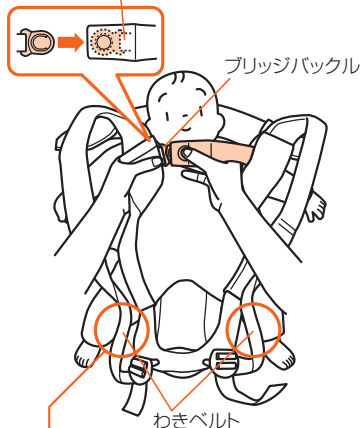
1 お子さまを子守帯に乗せ、図のように両足と両腕を通す

安全な場所でお子さまを乗せてください。

⚠警告	お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠注意	わきぐりカーブより下にお子さまの腕をのせて装着すると、 お子さまのわきがうっ血するおそれがあります。

タテ対面だっこで使うには(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)

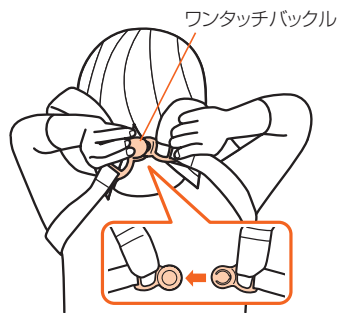
2 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

チェック✔ポイント

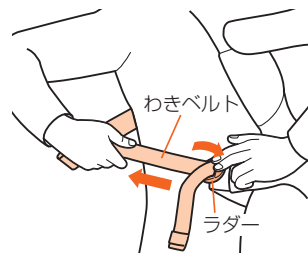
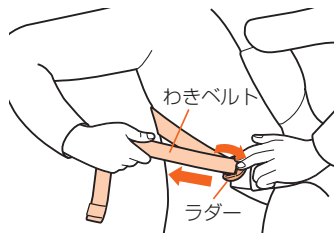
☑ 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？

※ブリッジベルトは、通気性が確保されているので、お子さまの呼吸には支障ありません。

3 左右の肩ベルトをかけ、ワンタッチバックルをとめる

図のように左右のバックルを持ち、前かがみになり首の後ろでワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

4 使用者の身体にフィットさせる

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。
「わきベルトの長さを調節する」7ページをご覧ください。

- 長くするときはラダーを立てて、わきベルトを引き戻します。

- 短くするときはラダーを立てて、わきベルトの余りを引っぱります。

5 装着の状態をチェックする

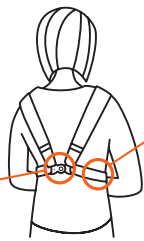
鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にして下さい。

チェック✔ポイント

●確実にとまっていますか？

ヘッドサポートフック（左右）

ブリッジバックル

ワンタッチバックル

●使用者の身体にフィットするように調節していますか？

わきベルト左右

警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折り曲げない時はヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。

警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

お子さまの位置(だっこの高さ)を調節する

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には

シートのみを上方に引っぱり、お子さまのお尻を使用者側に引き寄せてヘッドサポートとお子さまの肩のすきまを調節してください。

※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

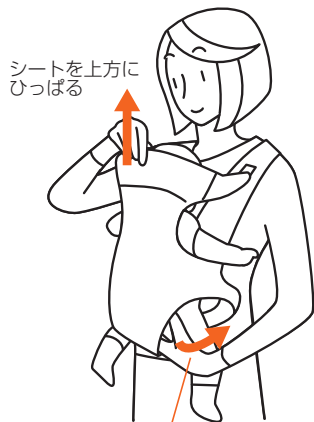
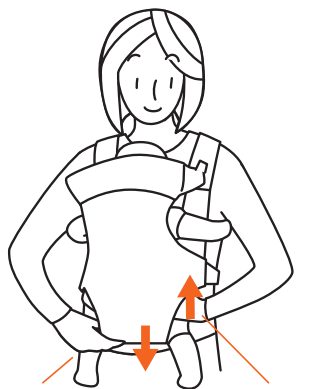
※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(P7参照)

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には

シートのみを下方に引っぱり、シートとお子さまの身体のすきまを調節してください。

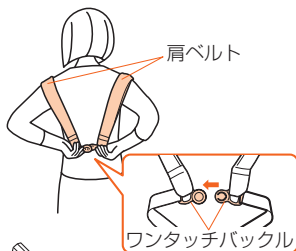
※必要に応じてわきベルトの長さを調節してください。(P7参照)

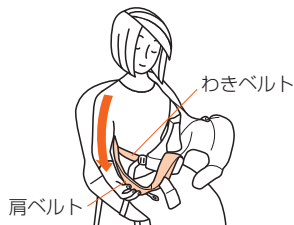
●調節してもお子さまが低い場合には

お子さまのお尻の下にタオルを敷くなどしてお子さまのお尻の高さを調節してください。

タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）

※ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。
※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

1 子守帯を取り付ける

肩ベルトを肩にかけ、背中でワンタッチバックルを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ワンタッチバックルがとめにくい場合は、先にバックルをとめてからベルトをくぐって腕を通し、子守帯を取り付けることもできます。

2 わきベルトの長さを調節し、身体にフィットさせたら、片方の肩ベルトをずらす

3 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所にすわった状態で、お子さまを向かい合わせに抱き上げ、子守帯に乗せます。お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。

⚠警告
お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。（他の人に介添えをしていただくとより安全です。）不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

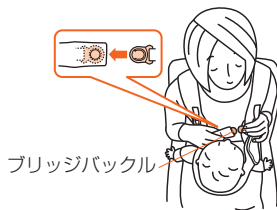
4 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートフックをとめる

ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートフックをお子さまの肩の上で「カチッ」と音がするまでとめます。

※ カバーホックをはずしたときは、ヘッドサポートフックをとめたあとにとめてください。

5 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。（P7参照）

6 装着の状態をチェックする

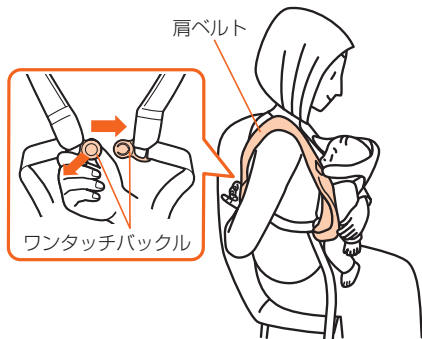
14ページの手順5「チェックポイント」をご覧ください。

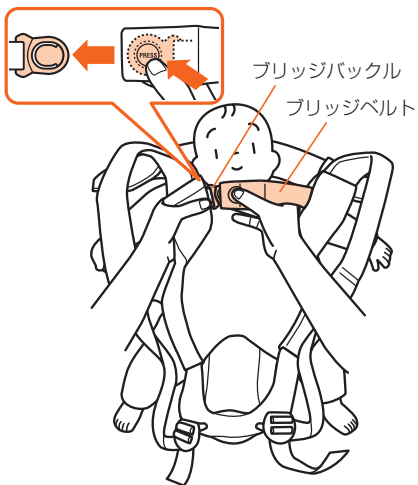
タテ対面だっこで使うには

タテ対面だっこのはずしかた

1 **ワンタッチバックルをはずして、肩ベルトをはずす**

安全な場所にすわり、お子さまを支えながら、ワンタッチバックルをはずし、肩から左右の肩ベルトをはずします。

※ワンタッチバックルをはずすには、図のように差し込んだバックルの内側から親指で外側に押します。

2 **お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす**

ブリッジベルトのPRESSマークを押し、ブリッジバックルをはずします。

3 **足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす**

足ぐりベルトを引っぱり、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。

腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

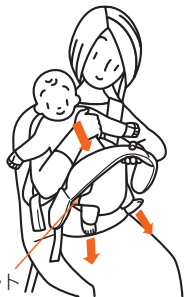
タテ前向きだっこで使うには

※ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。
※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

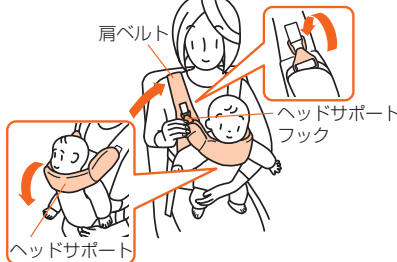
1 子守帯を取り付ける

「タテ対面だっこで使うには（子守帯を取り付けてからお子さまをだっこする場合）」（16ページ）の手順1、2をご覧になり、子守帯を取り付け、お子さまを乗せる準備をしてください。

2 お子さまを子守帯に乗せ、両足を通す

使用者が安全な場所にすわった状態で、お子さまを前向きに抱きあげ、子守帯に乗せます。
お子さまの足を左右の足ぐりベルトに通します。

⚠警告
お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。（他の人に介添えをしていただくとより安全です。）不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

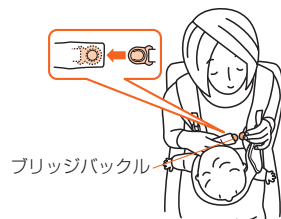
3 肩ベルトを肩にかけて、ヘッドサポートを折りたたみ、ヘッドサポートフックをとめる

ずらしていた肩ベルトを肩に戻し、ヘッドサポートを外側に折りたたみます。
お子さまの顔まわりをしめつけすぎないようヘッドサポートベルトの長さを調節してください。（P7参照）
左右のヘッドサポートフックを「カチッ」と音がするまでとめます。

⚠警告
タテ前向きだっこでご使用の際は、必ずヘッドサポートを折りたたんでください。
お子様の顔を圧迫し、傷害を負うおそれがあります。

4 ブリッジバックルをとめる

「カチッ」と音がするまで差し込みます。

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。

つづく

タテ前向きだっこで使うには

5 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、だっこの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

●確実にとまっていますか？

- ヘッドサポートフック（左右）
- ブリッジバックル

- ワンタッチバックル

●使用者の身体にあわせて
フィットするように調節していますか?

- わきベルト左右

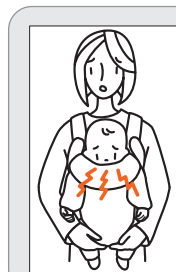
●お子さまについて

ヘッドサポートが口にかかっていませんか?
あたっている場合は、お子さまの位置を調節してください。

お子さまのわきの下がシートにあたっていませんか?

⚠警告
上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠警告
上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。

⚠警告
上記のチェックポイントを守らないと、お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

お子さまの口がヘッドサポートにかかってしまったり、わきの下がシートにあたってしまう場合には、P15の方法を参照し、調節してください。

タテ前向きだっこのはずしかた

「タテ前向きだっこで使うには」の手順を逆に行ってください。（P18／手順4→3→2）

1 ブリッジベルトのPRESSマークを押し、ブリッジバックルをはずす（P18手順4参照）

2 左右のヘッドサポートフックをはずし、片方の肩ベルトをはずす（P18手順3参照）

3 両足を子守帯から抜き、お子さまをおろす（P18手順2参照）

おんぶで使うには

※ヨコだっこ専用シートをはずしてご使用ください。
※ヘッドサポートベルトの調節のしかたは7ページの「各部の調節方法」をご覧ください。

1 子守帯にお子さまを乗せる

「タテ対面だっこで使うには(子守帯にお子さまを乗せてからだっこする場合)」(12〜13ページ)の手順1、2をご覧になり、子守帯にお子さまを乗せてください。

チェック✔ポイント

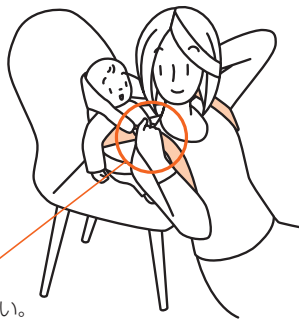
- 左右のわきベルトがお子さまの股の間を通っていますか？
- ブリッジバックル、ヘッドサポートフックはとまっていますか？

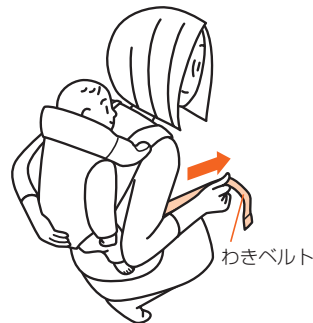
警告

お子さまの乗せおろしは必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えをしていただくとより安全です。) 不安定な場所では、お子さまが落下するおそれがあります。

2 お子さまを背負う

お子さまを乗せて立ち上がるときは、肩ベルトの付け根部分をしっかり持ってください。

※他の人に介添えしていただくと、より安全です。

3 わきベルトを調節し、身体にフィットさせる

わきベルトの余りを左右同じ長さに調節します。

おんぶで使うには

4 装着の状態をチェックする

鏡などに姿を映し、おんぶの状態を最適な状態にしてください。

チェック✔ポイント

⚠ 警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠ 警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまが窒息したり、こすれや傷を負うおそれがあります。

⚠ 警告 上記のチェックポイントを守らないと、お子さまのわきやももがうっ血するおそれがあります。

おんぶのときは、約30分ごとにお子さまの様子を確認してください。

おんぶしているときは、使用者からお子さまが見えませんので、特に低月齢のお子さまの場合は、約30分ごとにお子さまをおろして様子を確認するように心がけてください。

●お子さまの肩がヘッドサポートにあたってしまう場合には、P15の方法を参考に調節してください。

※お子さまが成長し、お子さまの身体の位置を調節しても肩があたる場合は使用をやめてください。

●お子さまのわきの下が子守帯のシートにあたってしまったり、ももが圧迫される場合には、P15の方法を参考に調節してください。

ヘッドサポートを折って使うこともできます。

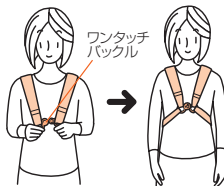
ヘッドサポートを外側に折り曲げると、首を支えつつお子さまの視界を広げることができます。

ヘッドサポートを折り曲げない時はヘッドサポートが、眠ってしまったお子さまの頭をしっかり支えます。

※通気性が確保されているのでお子さまの呼吸には支障ありません。

クロススタイルでおんぶする

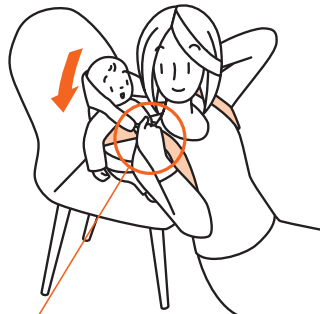
わきベルトを伸ばし、ワンタッチバックルを胸の下の部分でとめ、使用者の身体にあわせてフィットさせると、クロススタイルのおんぶも可能です。

⚠注意

使用者が痛みや不快を感じたときは、使用を中止してください。
特に、授乳期のお母さまはクロススタイルでおんぶをしないでください。乳房を圧迫するおそれがあります。

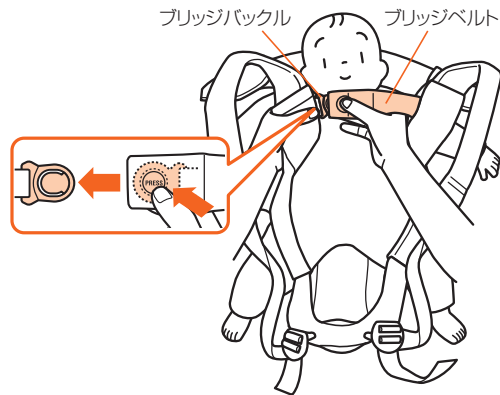
おんぶのはずしかた

※ クロススタイルのおんぶの場合は、ワンタッチバックルをはずしてから行ってください。

1 お子さまを背中からおろす

※他の人に介添えしていただくとより安全に行えます。

肩ベルトの付け根部分を持ってください。

2 お子さまを安全な場所へ寝かせ、ブリッジバックルをはずす

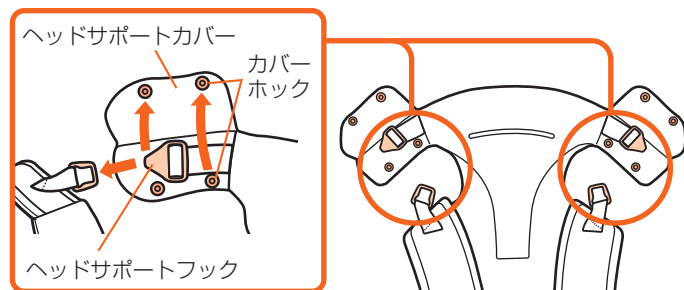
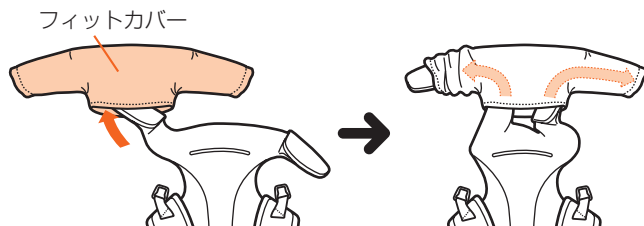
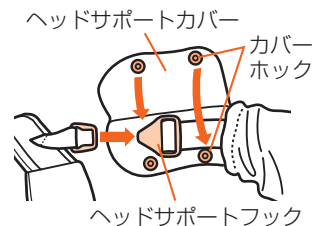
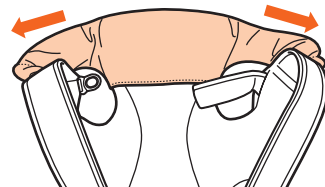
ブリッジベルトのPRESSマークを押し、ブリッジバックルをはずします。

3 足と腕を子守帯から抜き、お子さまをおろす

足ぐりベルトを引っぱり、お子さまの足を足ぐりベルトから抜きます。
腕も子守帯から抜いて、抱き上げます。

付属品の使いかた

フィットカバーの取り付けかた

※タテだっこ時のみ使用します。
お子さまの汗や汚れを吸収し、汚れたら取りはずして洗濯することができます。

1 左右両方のヘッドサポートカバーを開き、ヘッドサポートフックをはずす

2 フィットカバー下部の通し穴から、ヘッドサポート左右の端部を片方ずつ通す

3 左右のヘッドサポートフックをとめ、カバーホックをとめる

4 フィットカバーの左右の端が、ヘッドサポートの端までカバーするよう、伸ばして整える

フィットカバーのはずしかた

※上記の「フィットカバーの取り付けかた」を参照してください。

1 左右のヘッドサポートフックをはずす

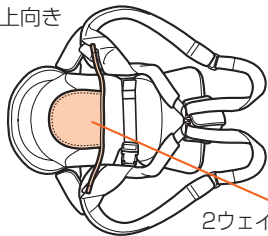
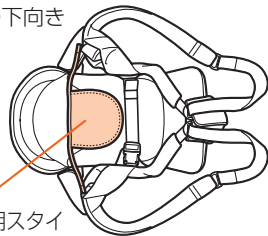
2 フィットカバー下部の通し穴からヘッドサポートの両端を片方ずつはずす

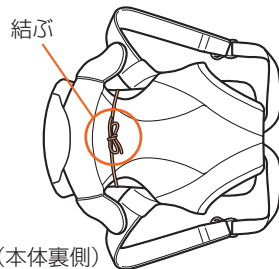
2ウェイ専用スタイの使いかた ※プレミアムコンフォートのみ

ヨコだっこ時の使いかた

お子さまの頭の汗取りとして使用します。汚れたら取りはずして洗濯することができます。

1 **2ウェイ専用スタイをヨコだっこ専用シートの頭部分にのせる**

お子さまの身長や寝かせる位置に合わせて、上向きでも下向きでも使用することができます。

2 **2ウェイ専用スタイのひもをヨコだっこ専用シートの裏側で結ぶ**

専用スタイがずれないようにきちんと結んでください。

タテだっこ時の使いかた

お子さまのよだれカバーとして使用します。汚れたら取りはずして洗濯することができます。

1 **お子さまをタテだっこして装着し、2ウェイ専用スタイをお子さまの顔の前に垂らす**

2 **左右のひもを、それぞれ左右のヘッドサポートの端にかけ、ずれないように結ぶ**

付属品

お手入れ

本体のお手入れ

日常のお手入れ

● 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いし、形を整えて日陰で平干ししてください。
● 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

● 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
● 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
● ヨコだっこ専用シートは、面ファスナー(オス)が他の洗濯物を傷つけるおそれがありますので、別に洗ってください。
● 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。
● 洗濯表示、生地素材については、製品本体に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

⚠注意
お子さまのよだれなどが生地に付きますと、生地がかたくなる場合がありますのでその際には早めに洗濯してください。
かたくなった生地でお子さまの肌を傷つけるおそれがあります。

付属品のお手入れ

日常のお手入れ

● 洗濯は水またはぬるま湯で洗い、形を整えて日陰で吊り干ししてください。

洗濯についてのご注意

● 色落ちすることがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いも避けてください。
● 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ・湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
● 乾燥機の使用はしないでください。
● 洗濯表示、生地素材については、製品に縫製されております洗濯ラベルをご参照ください。

付属品のご注文窓口

● 洗濯を繰り返すことにより、風合いが変化します。
傷んできたと感じたら交換をおすすめします。部品として、弊社コンシューマープラザから購入することができます。

コンビ株式会社　コンシューマープラザ部品係　宛
(部品販売に関するお問い合わせ、ご注文窓口)
TEL (048)797-1001 FAX (048)798-6109
〒339-0025　埼玉県さいたま市岩槻釣上新田271
• 受付時間　AM10：00～PM5：00（日祝日・年末年始を除く）
• ホームページでのご注文、お問い合わせ
http:www.combi.co.jp/cp/

SG マークの被害者救済制度

SG マークが表示された子守帯を、消費者の皆さまが正常に使用していたとき、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償いたします。

ただし、お買い上げ日より３年以内です。

●賠償についてのご注意

- 認定した子守帯そのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
- 賠償金は製品安全協会がそれぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

●賠償金の請求について

損害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求するときは、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定するところに届けてください。

製品安全協会
〒110-0012　東京都台東区竜泉2丁目20番2号
ミサワホームズ三ノ輪　2階
TEL（03）5808-3300

●事故賠償に必要な項目
①事故の原因となった子守帯の現品
イ）製品の名称、SG番号　ロ）製品の購入先、購入年月日
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）